

雇用型インターンシップを中核とする実践的な教育プログラム

みえ農業版MBA養成塾

三重県農業大学校

MIE AGRICULTURAL COLLEGE

令和4年度 入塾案内



願書受付期限

令和3年

12月10日(金)

◆ お問い合わせ先

三重県農業大学校 農業ビジネス人材育成課 〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530

TEL 0598-42-1260 E-mail nodai@pref.mie.lg.jp

FAX 0598-42-5835 HP <https://www.mie-agri-mba.pref.mie.lg.jp/>



三重県農林水産部 担い手支援課 担い手育成班 〒514-8570 三重県津市広明町13

TEL 059-224-2354 E-mail ninaite@pref.mie.lg.jp

FAX 059-223-1120

ABOUT — 「みえ農業版 MBA養成塾」とは —

若き次世代の農業ビジネス人材を育成する養成塾を2018年4月に開設しました

未来の農業イノベーター募集！

本養成塾は、「農業をビジネスとして展開する起業家」や「農業法人のビジネスマネージャー」、「農業を核に地域の活性化を図るイノベーター」などを志し、自らビジネスプランを描ける経営センスを持った人材を発掘、育てることを目的に、MBA(Master of Business Administration= 経営学修士)プログラムを提供するビジネススクールの農業版として三重県が設置したものです。農業ビジネスを志そうとする若者を、産学官による「オール三重」の体制で支援し、質の高いプログラムを提供することで三重県が就農の場所として、また、定住の場所として選択されることを目指しています。



◆ みえ農業版MBA養成塾の特徴 ◆ FEATURE

突き抜けた農業経営を目指すための現場力 ✕ 事業構想力を磨くプログラム

◆ トップ法人での現場研修(雇用型インターンシップ)

県内トップレベルの農業法人等で働きながら、本格的に農業ビジネスを学べる環境を提供します。

◆ 未来の経営プランを構想

農業経営のみならず、企業経営やリーダーシップ論などに加え、食品の流通・加工や GAP、HACCP といった川上から川下までのフードマネジメントをトータルで学ぶプログラムを提供します。

◆ 構想力を磨く議論の場

三重大学大学院地域イノベーション学研究所と連携し、地域社会や農業を含む企業の現場における課題や対応策を学生達と議論・演習できる機会を提供します。

※三重大学大学院地域イノベーション学研究所で学位取得を目指す方には、大学院と併学できる環境を提供可能です。

◆ 2年間のコース設定

1年目のプライマリーコースと2年目のアドバンスコースを用意しており、2年間に渡り、講義およびインターンシップによる現場研修で基礎から応用を学びます。



◆ カリキュラムの特徴

三重県農業大学校と三重大学、農業法人等の産学官が連携し、それぞれの専門領域を融合することで、広範な科目に対して質の高いプログラムの提供を実現します。



みえ農業版MBA養成塾塾長
三重大学大学院
地域イノベーション学研究所教授

西村 NISHIMURA
訓弘 NORIHIRO

地方、地域にこそチャンスがある。

「失われた20年」と評されるように、産業の停滞が生じている「地域」の現場では、地域に存在する資源や要素を再構築し、新しい価値を生み出す新結合(イノベーション)が求められています。特に農業は、場所によって土壌や気象条件が大きく異なることから、栽培品目や生産方法、投下する資源の組み合わせによって、全く異なる結果が生み出されることになります。農業は、様々な要素が結果(生み出す価値)に影響するからこそ、その要素の組み合わせ次第で、非常に大きな価値を生み出せる可能性を持ち合わせており、だからこそ、農業の分野はこれから非常に大きなチャンスがあると考えています。

10数年前から、起業を志す若者と一緒に「創業塾」を行ってきました。県内各地に個性的なアイデアを持つ面白い若者が一定数いること、一方で彼らがそれを相談する相手がおらず孤立してしまっていることがわかり、そうした若者とともに勉強会を行ってきました。アイデアを叩いては練り直し、自ら「突き詰めて考える」習慣を得て、「らしさ」にあふれた面白いビジネスを手掛けるようになった若者を多数見てきました。

「みえ農業版 MBA 養成塾」は、この取り組みを発展させ、体系化しようという目的のもと、2018年に始まったプログラムです。「農業版」と銘打っているものの、農業者だけに閉じているものではなく、三重県内の多様な業種にまたがる「オール三重」のネットワークの上に成り立っています。過去10年にわたって蓄積してきた三重県のネットワークを活用し、ご自身のビジネスキャリア・スキルを活かしながら、ぜひ新しい価値を生み出しましょう。皆さんのチャレンジをお待ちしています。

確固たる現場力と、マネジメント力の両立を目指すカリキュラム

みえ農業版 MBA 養成塾では、現場研修と講義がおおむね9：1の割合となっています。現場研修では、受入先の農業法人等における年間1,500時間の「雇用型インターンシップ」を通じて、1年目は生産管理の基礎を学び、2年目は栽培状況に応じた管理方法の判断力やより高度な技術を実践・習得することを目指します。講義のうち、経営学講座およびフードマネジメント講座については、1年目に経営戦略や財務会計の基礎はもとより、6次産業化やマーケティングの手法などを、2年目には経営者による講義を通じ、自立した経営者を目指すにあたっての心構えや考え方などを学びます。また、三重大学大学院における「プロジェクトマネジメント演習」では、課題の発見や解決する手法を学び、「経営プラン策定演習」ではインターンシップでの現場研修やこれまでの講義を通じて得た知識をもとに、修了後に自らが実践する農業の目標となるプラン策定を行います。

◆ プライマリーコース (1年目) ◆ PRIMARY COURSE

科目	時間数	実施場所・方法等
雇用型インターンシップ	1,500h	受入法人等
経営学講座	38h	【入門】 ・農業情勢 ・農業生産工程管理(GAP) ・スマート農業概論 等 農業大学校 養成科の講義を活用
	28h	【基礎】 ・実践経営論 ・経営戦略 ・財務会計 ・視察研修 農業大学校 外部講師による講義
	12h	【特別講座】 ・公開講座/その他外部研修派遣 外部セミナー等
フードマネジメント講座	12h	【基礎】 ・食品流通 ・農産物輸出 ・情報発信 農業大学校 外部講師や食品産業 事業者による講義
	12h	【特別講座】 ・食品衛生法関係研修 ・その他外部研修派遣 外部セミナー等
プロジェクトマネジメント演習I	36h	三重大学大学院地域 イノベーション学研究所
経営プラン策定演習I	72h	農業大学校 (現状把握、課題の抽出)
小計	1,710h	

◆ アドバンスコース (2年目) ◆ ADVANCE COURSE

科目	時間数	実施場所・方法等
雇用型インターンシップ	1,500h	受入法人等
経営学講座	16h	【応用】 ・経営戦略の考え方 ・労務管理 等 農業大学校 外部講師による講義
	12h	【特別講座】 ・経営者によるオムニバス講義・ワーク 農業大学校
フードマネジメント講座	4h	【応用】 ・食品加工・安全 等 農業大学校 外部講師や食品産業 事業者による講義
	16h	【特別講座】 ・視察研修等 県内外
プロジェクトマネジメント演習II	36h	三重大学大学院地域 イノベーション学研究所
経営プラン策定演習II	72h	農業大学校 (実践プランの策定)
小計	1,656h	

※カリキュラムは変更になる場合があります。

募集人数

3～5名程度

必要経費

- ①受講料(年間)118,800円※
 - ②その他経費(必要に応じて、教材書籍代など)
- ※三重大学大学院に入学した学生にとっては免除規定あり

INTERNSHIP — インターンシップ —

県内トップレベルの農業法人等で働きながら学ぶ

本養成熟の雇用型インターンシップは研修先から一定程度の賃金を得ながら学ぶ形式をとっています。これは、新規就農を目指す方の多くが直面する、研修期間中の収入面の不安を少しでも解消し、就農に向けてサポートするという視点に加え、インターンシップ受入法人側も貴重な戦力となる人材を育てるという覚悟を持って、指導にあたってもらうことをねらいとしているからです。インターンシップ受入法人は、様々な経営スタイルを実践する県内トップレベルの農業法人等を選抜しています。研修希望者が希望するインターンシップ先を選択し、その法人で働きながら、OJTで農業技術や経営などを学んでいただくことができます。

◆ インターンシップ受入法人等一覧 ◆ INTERNSHIP HOST COMPANIES

有限会社木曾岬農業センター

育成目標 仕事の基礎(作業・技術・販売)を覚えて、生産から販売までの流れが分かって行動できる人材

所在地 桑名郡木曾岬町

研修品目 水稻、小麦、大豆

URL <http://kisosaki-fc.com/>



有限会社萩村製茶

育成目標 リーダーとして、自分発信で行動し、周囲に好影響を及ぼす人材
お茶の品質、茶畑の良さあしが分かる専門人材

所在地 四日市市

研修品目 茶

URL <http://hagimura.jp/>



株式会社三重加藤牧場

育成目標 牛の変化に気づく「眼」をもち、牛の管理が出来る人材
常になぜ?という疑問を持ち、解決に向け前向きな姿勢の人材

所在地 四日市市

研修品目 肉牛繁殖

URL <http://www.mie-katoubokujiyou.com/>



株式会社アグリサービス鈴鹿

育成目標 地域農業を支える次世代の担い手

所在地 鈴鹿市

研修品目 多品目

URL なし



株式会社イシイナーセリー

育成目標 現場で必要なことを、生産や出荷等を含む一段高い視点から判断し、作業や他の社員に指示しながら、高品質タマリユ生産をけん引できる人材

所在地 鈴鹿市

研修品目 タマリユ

URL <https://www.best-tamaryu.com/>



株式会社ささら

育成目標 自己の経営だけでなく、地域に密着し、地域農業の維持発展を考える人材

所在地 鈴鹿市

研修品目 茶

URL <http://www.sasara-tea.com/>



サノ・オーキッド

育成目標 マーケットや顧客へ提供する価値を意識して商品・イベント企画ができる人材

所在地 鈴鹿市

研修品目 洋ラン

URL <https://www.facebook.com/sanoorchids/>



株式会社浅井農園

育成目標 トマトを中心としたデータに基づく栽培・研究のスペシャリスト

所在地 津市

研修品目 施設トマト

URL <http://www.asainursery.com/>



有限会社一志ピックファーム

育成目標 仕事の段取りができ、人を引っ張る力をもつ人材、養豚に関する一連の流れを理解・実施できる専門人材

所在地 津市

研修品目 養豚

URL <https://www.ichishi-pig-farm.com/>



ヤマギシズム生活豊里実顕地農事組合法人

育成目標 自身の関心を深め、適性をみながら農業を楽しみ、より自身に合致し、健康的で長続きする農業のスタイルを見出す

所在地 津市

研修品目 酪農、養豚、肉牛、野菜

URL <https://www.yamagishi.or.jp/>



株式会社あぐりん伊勢

育成目標 経営感覚の優れた産地を支える次世代の担い手

所在地 度会郡度会町

研修品目 青ネギ、スナップエンドウ、いちご、水稻

URL <https://www.jaise.jp/publics/index/189/>



株式会社伊賀の里モクモク手づくりファーム

育成目標 農を中心に6次産業化・付加価値モデルの実現が考えられる人材

所在地 伊賀市

研修品目 1. 施設イチゴ /2. 施設トマト /3. 酪農

URL <http://www.moku-moku.com/>



伊賀ベジタブルファーム株式会社

育成目標 アントレプレナー・農食の新規事業家

所在地 伊賀市

研修品目 多品目(野菜、有機農業)

URL <http://iga-vegetable.jp/>



TomiBerryいちご農園

育成目標 イチゴの栽培技術を習得し、品質の良いイチゴづくりを目指して、自分の力で実践し改善できる人材

所在地 伊賀市

研修品目 施設イチゴ

URL <https://tomiberry.com/>



※インターンシップ受入法人等は追加される場合もありますので、専用サイト (<https://www.mie-agri-mba.pref.mie.lg.jp/>) をご確認ください、農業大学校にお問い合わせ下さい。

◆ 募集要項 ◆ APPLICATION

◆ 応募資格

年齢	令和4年4月1日時点で原則45歳未満の者。
資格	<p>以下ア、イ、ウのいずれかを満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 大学、短大、農業大学校及び専門学校を卒業した者、又は令和4年3月末までに卒業見込みの者で、三重県内において農業ビジネスの展開を志す者。 イ 社会人経験があり、今後三重県内において、農業ビジネスの展開を志す者。 ウ 三重県内の農業法人の職員として雇用されている者等で、将来農業法人の経営者・マネージャー等を志す者。

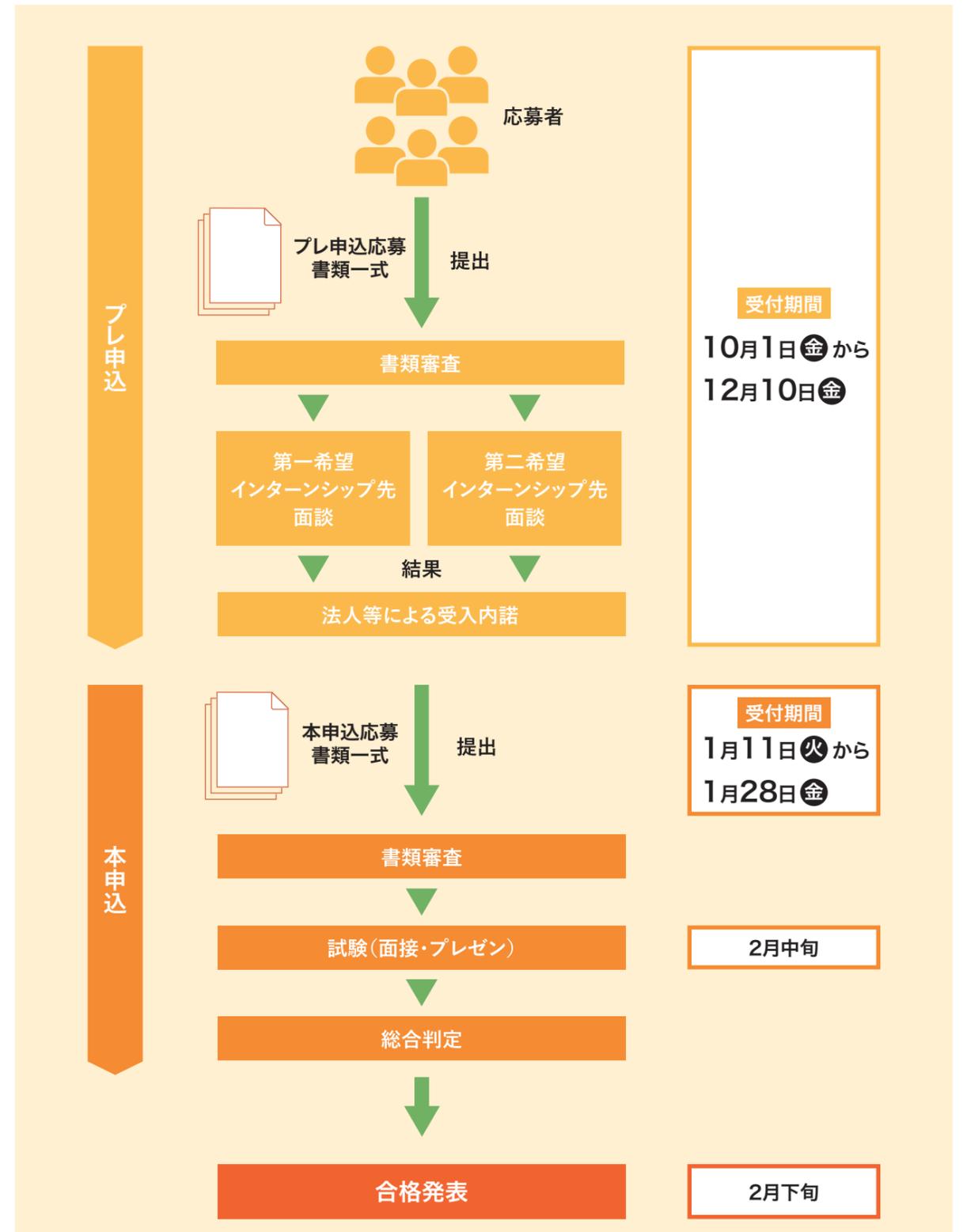
◆ 対象とする人材像

本養成塾では農業経験の有無によらず、次世代の農業経営を目指す次のような人材を求める。



選考にあたっては2段階で行います。プレ申込でインターンシップ先との面談を行い、その結果、インターンシップ先から受入れの承諾が得られた方については、本申込をしていただき、面接試験をへて、入塾していただきます。
 ※農業法人等の見学、面談等を随時実施し、インターンシップ先の決定に向けてマッチングを行います。

◆ 応募方法



1 ◆ プレ申込

- i プレ申込応募受付期間中に以下の「2◆プレ申込応募書類」を提出いただきます。
- ii 後日応募者は、希望する雇用型インターンシップ受入法人等の面談を受けていただきます。
(農業大学校において同法人等と日程調整のうえ応募者へ面接日ご連絡します。)
- iii 応募者には面談後、「インターンシップ受入等面談結果通知書」を発行します。
※応募者は、本申込応募受付期間中に、この書類を添付して本申込へ応募していただきます。

2 ◆ プレ申込応募書類

- ア 入塾願書 (プレ申込用) (第1号様式)
- イ 課題作文 (プレ申込用) (第2号様式)
(400字以内で志望動機を記述すること。ただし、記述は、必ず直筆とし、パソコン等での作成は不可。)
- ウ 履歴書
(写真貼付のうえ、学歴、職歴を漏れなく記入すること。)
※履歴書は市販のものを利用すること。
- エ 写真
(出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身無帽の縦4cm、横3cmの写真を1枚。裏面に氏名と撮影年月を記入すること。)
※写真の提出部数は、履歴書に貼付するものと併せて計2枚必要となります。
- オ 同意書 (第3号様式)

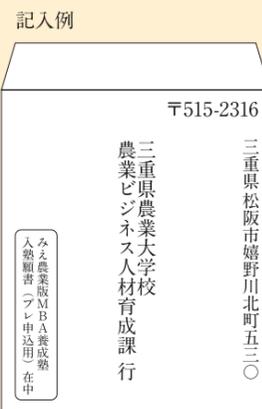
3 ◆ プレ申込応募受付期間

令和3年10月1日(金)から令和3年12月10日(金)(当日必着)

4 ◆ プレ申込応募先

三重県農業大学校 農業ビジネス人材育成課
〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
電話 0598-42-1260 / FAX 0598-42-5835

角形2号封筒等を使用し封筒宛先面左下に「みえ農業版 MBA 養成塾入塾願書(プレ申込用)在中」と明記のうえ、応募書類を封入し、三重県農業大学校 農業ビジネス人材育成課まで郵送又は直接提出してください。



プレ申込、本申込の応募様式は以下の Web サイトの「募集要項」からダウンロードできます。

<https://www.mie-agri-mba.pref.mie.lg.jp/>

こちらに
アクセス



5 ◆ 本申込

本申込応募受付期間中に以下の「6◆本申込応募書類」を提出いただきます。

6 ◆ 本申込応募書類

- ア 入塾願書 (本申込用) (第4号様式)
- イ 課題作文 (第5号様式)
(400字詰め原稿様式横書きを用い、1,000字以上1,200字以内で「将来の経営目標」について記述すること。ただし、必ず直筆とし、パソコン等での作成は不可。)
- ウ 添付資料 プレ申込により発行された「雇用型インターンシップ受入法人等面談結果通知書(第6号様式-1)」

7 ◆ 本申込応募受付期間

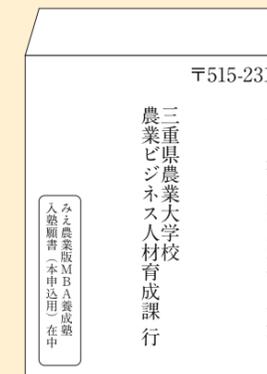
令和4年1月11日(火)から令和4年1月28日(金)(当日必着)

8 ◆ 本申込応募先

三重県農業大学校 農業ビジネス人材育成課
〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
電話 0598-42-1260 / FAX 0598-42-5835

角形2号封筒等を使用し封筒宛先面左下に「みえ農業版 MBA 養成塾入塾願書(本申込用)在中」と明記のうえ、応募書類を封入し、三重県農業大学校 農業ビジネス人材育成課まで郵送又は直接提出してください。

記入例



9 ◆ 本申込者選考試験

期日 令和4年2月中旬

※詳細は受験者に連絡します。

試験内容 面接(プレゼンテーション)

※プレゼンテーションは、本申込応募時に提出した課題作文の内容に基づき行います。

◆ 合格発表及び通知

令和4年2月下旬